

## 「男性の家事」に関するアンケート調査

調査期間: 2014/5/8~5/10  
調査方法: インターネット(携帯電話Web機能)による調査  
調査対象: 新潟県内在住の20~75歳の既婚男女(2567名)

### ● 調査結果概要 ●

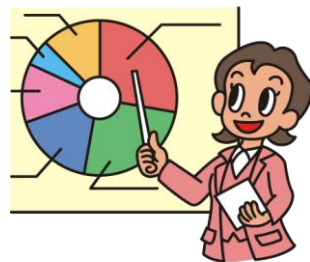
**新潟県民で家事をしている既婚男性は8割以上。**

家事の内容は、

**1位「ゴミ出し」**

**2位「お風呂掃除」**

**3位「食器の上げ下げ」**



**男性が家事をするようになったきっかけは、「いつの間にか」。**

スピードリサーチ社が運営・管理する100off.comの新潟県内在住会員で既婚者を対象に調査を行った。

新潟県内の既婚家庭では、「夫(既婚男性の場合は自分)は家事をしていない(14.7%)」を除く8割以上の既婚男性が、何かしらの家事をしていることが分かった。年代別では20代、30代で、世帯別では共働きの家庭で、他の年代・世帯と比べて家事をしている男性の割合が若干高いものの、いずれも家事をしている男性の割合は8割を超えており、年代別・世帯別による大きな違いは見られなかった。

既婚男性が行っている家事では、約5割が「ゴミ出し」と回答しており、最も割合が高い。「お風呂掃除」「食器の上げ下げ」「食器洗い」も割合が高く、約4割が回答している。

家事の内容を世帯別で見ると、共働き家庭と専業主婦家庭で違いが見られる。ほとんどの項目で共働き家庭で割合が高く、特に「洗濯物を干す、取り込む(16.2ポイント)」「食器洗い(12.1ポイント)」「掃除機・モップをかける(10.0ポイント)」「洗濯物をたたむ、収納する(9.9ポイント)」「料理(9.6ポイント)」で差が見られる。逆に「育児、子守り(4.3ポイント)」は、専業主婦家庭で割合が高い。

夫(既婚男性の場合は自分)が家事をするきっかけは、「いつの間にか」と回答した割合が最も高く、4割を超えた。次いで「やらなければいけない状況になったから」「お願いしたから(既婚男性の場合はお願いされたから)」の順に続く。特に、「やらなければいけない状況になったから」は、専業主婦家庭と比べ共働き家庭で、回答した割合が高い。夫の気分を良くし、家事をさせるような、「感謝を伝えたから(感謝されたから)」「褒めたから(褒められたから)」という回答は割合が低く、いずれも1割に満たなかった。「怒ったから(怒られたから)」「命令したから(命令されたから)」という回答も1割に満たなかった。

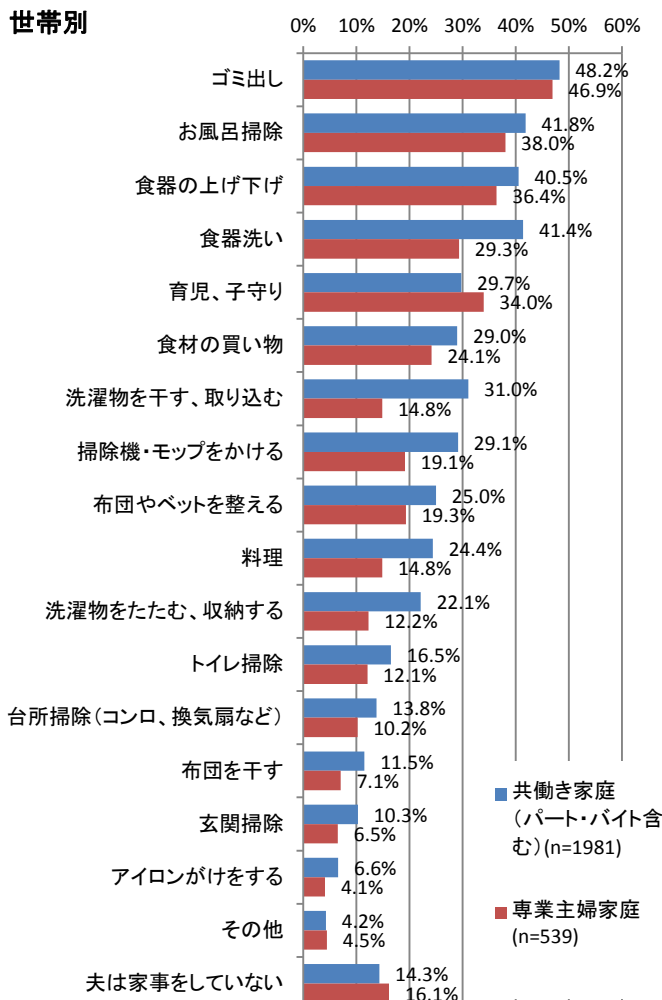
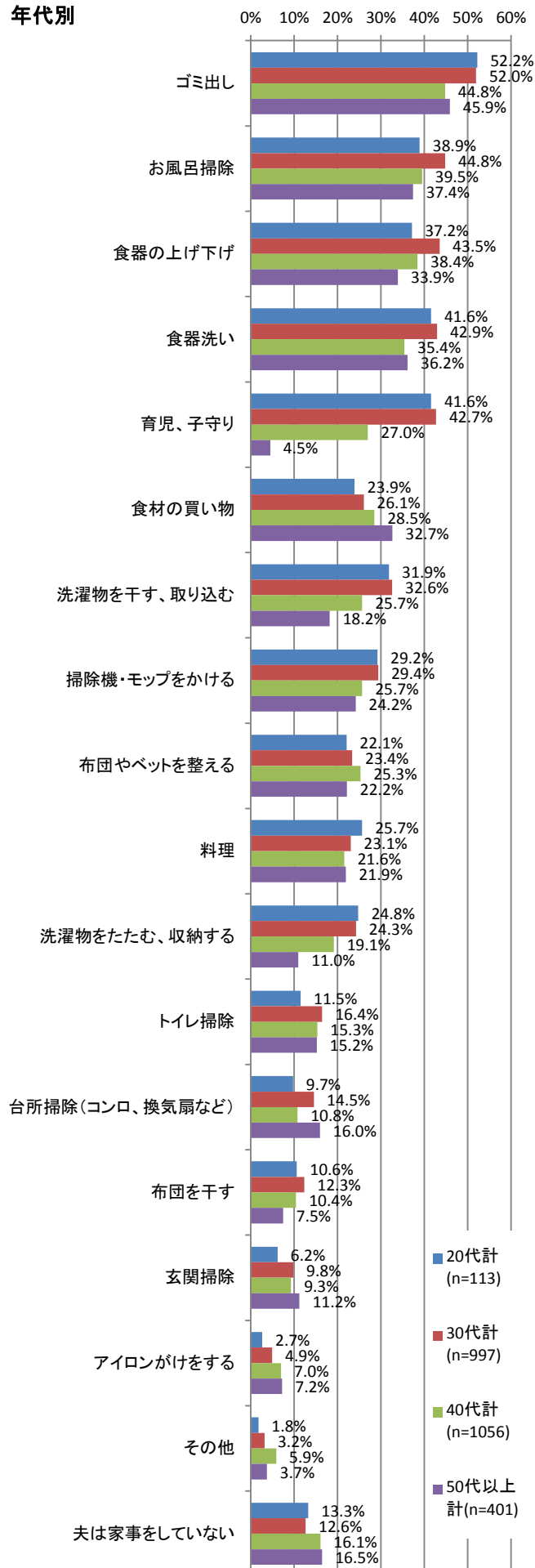
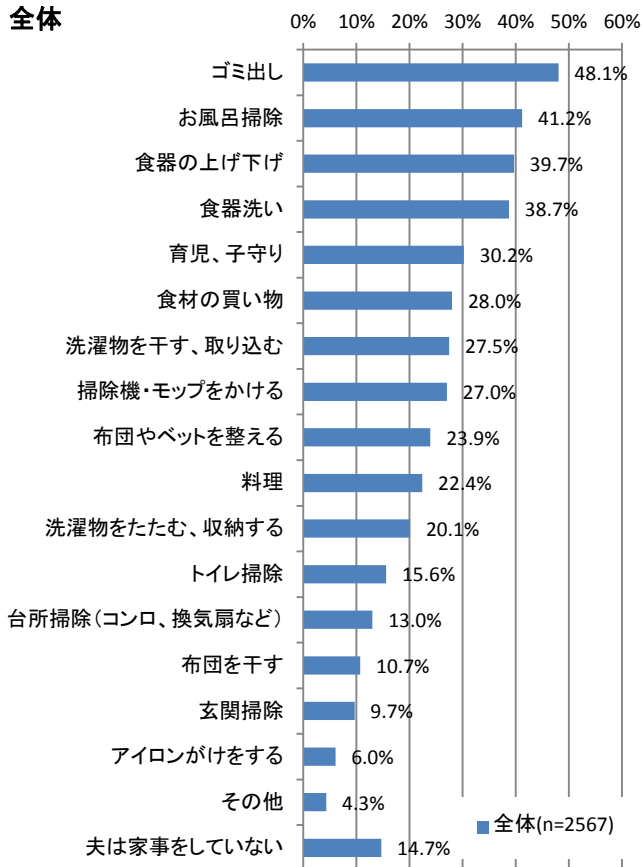
今回の結果から、「共働き家庭」でも「専業主婦家庭」でも、多くの家庭で男性も家事をしている実態が垣間見えた。しかし、家事の内容別割合から分かるように、夫が家事をしていると答えた割合が最も高い「ゴミ出し」でも半数を下回っており、まだまだ家事における女性の負担割合が高い。さらに女性の負担を減らす(夫に家事をしてもらう)ために、「妻が夫に『お願い』して、それを何回か続ける内に、夫が『いつの間にか』するように常習化してしまう」という方法は、効果的な方法の一つとして考えられる。試してみたいかがだろうか？

### ● 本件 お問い合わせ先 ●

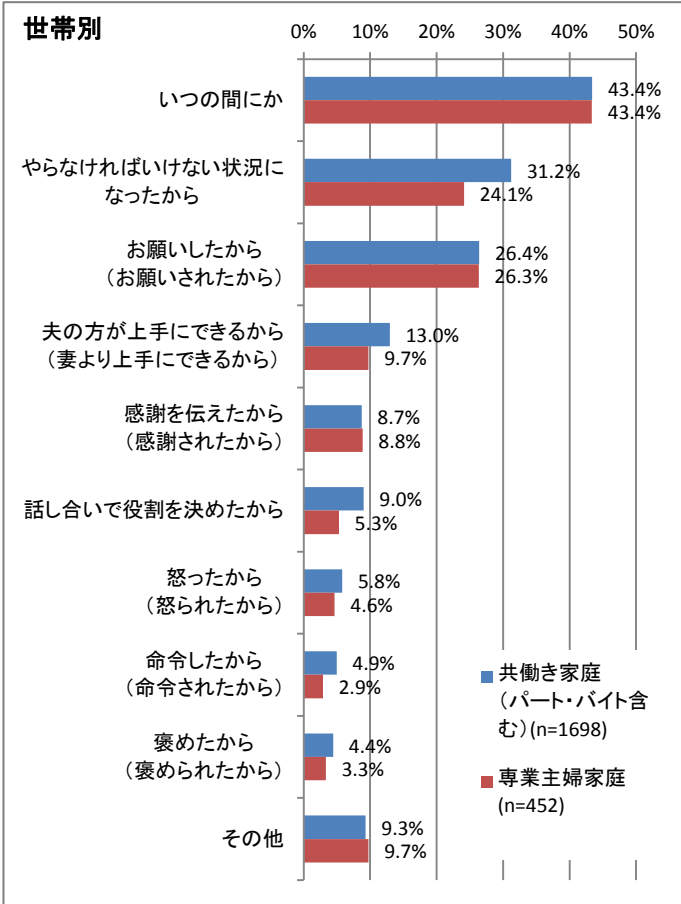
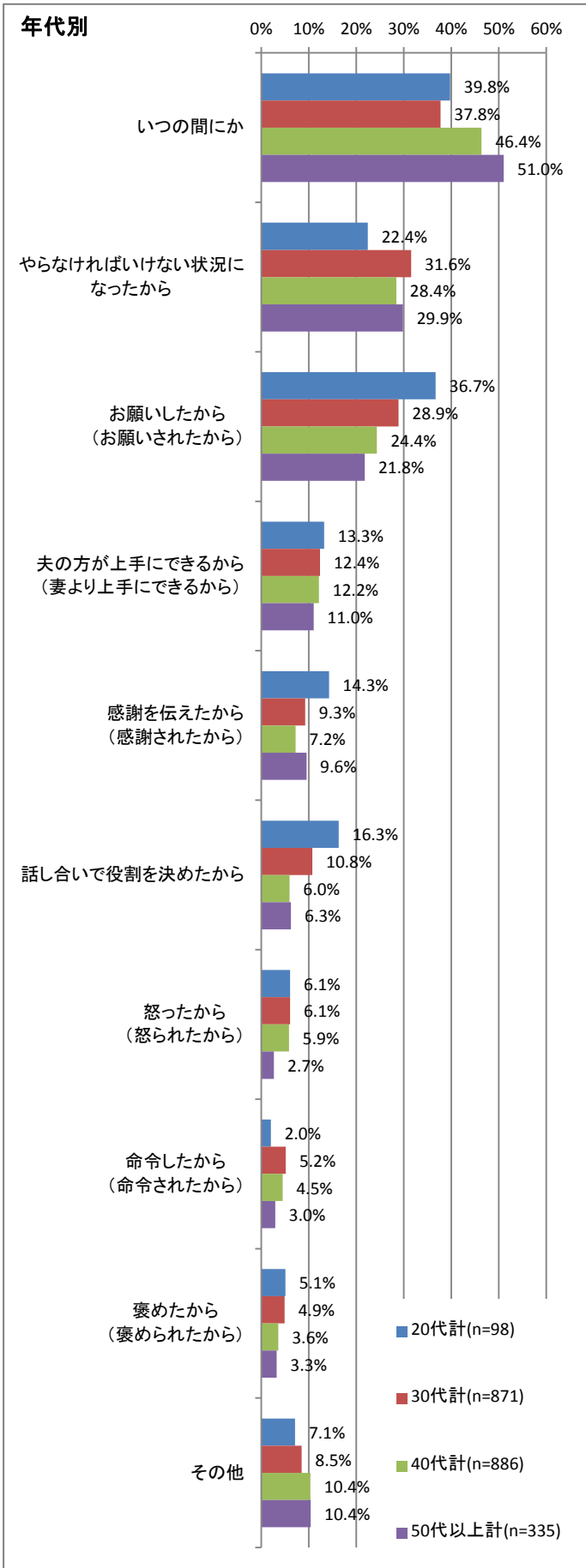
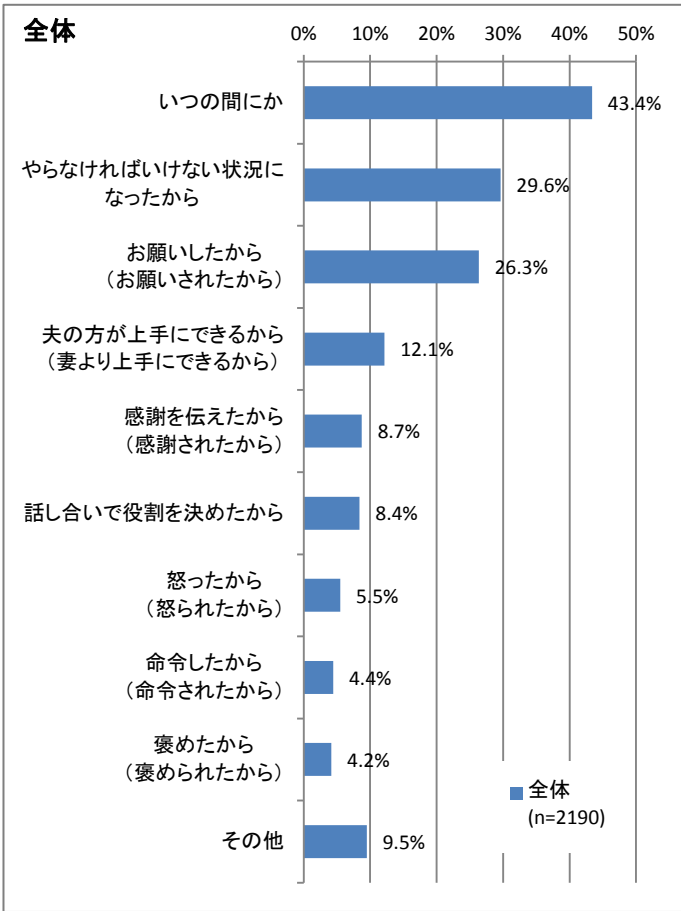
 **株式会社スピードリサーチ** (担当: 栗林) 新潟市東区小金町1-7-1 NTT小金ビル  
TEL: 025-270-3800 E-Mail: [info@speed-r.co.jp](mailto:info@speed-r.co.jp)

※本調査結果のご使用は原則無償です。ご使用いただく際は、事後報告でも構いませんので、ご一報願います。  
※ご使用の際は【「100off.com」登録会員を対象に行った調査】であることが分かるように、ご明記願います。

Q1. 普段、夫(既婚男性の場合はあなた)がしている家事を全てお選びください。(複数回答可)



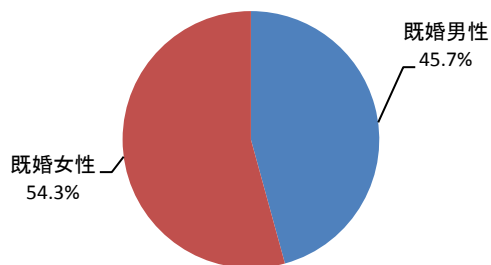
Q2. 夫(既婚男性の場合はあなた)が家事をするようになった、きっかけを全てお選びください。(複数回答可)



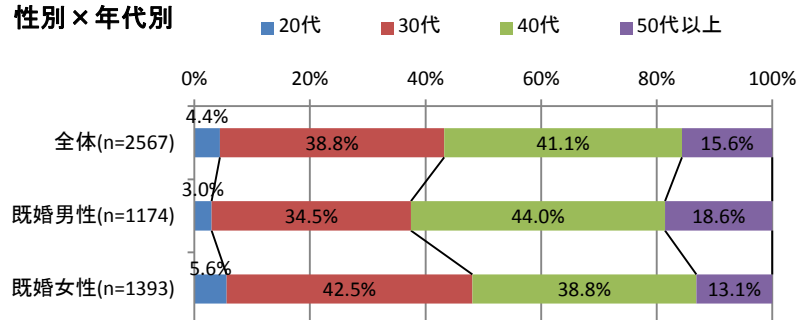
# 回答者属性

## 性別

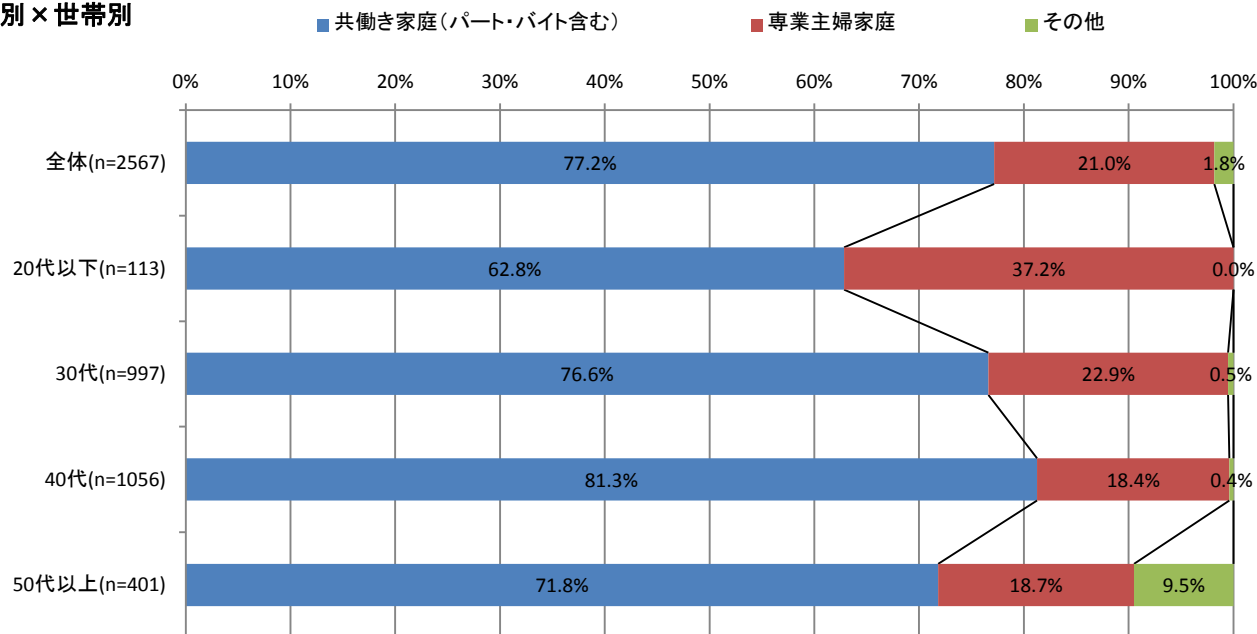
全体 (n=2567)



## 性別 × 年代別



## 年代別 × 世帯別



※「その他」は「夫婦とも無職」「夫が専業主夫」の家庭